

境港市まちづくり総合プラン具体的施策の取組状況

基本目標 1 広域連携による一体的発展

具体的施策 (1) 物流拠点「境港」の機能強化・輸出入の拡大

施策の展開方針

①機能強化に向けた要望活動	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省本省及び鳥取・島根県選出国會議員への要望活動3回実施した。(平成29年7月25日、11月21日、平成30年2月20日) ■要望項目 <ul style="list-style-type: none"> ①竹内南地区貨客船ターミナル整備事業の予算確保と早期完成 ②北東アジアゲートウェイ「境港」の重点整備 ■要望者 <ul style="list-style-type: none"> 中海・宍道湖・大山圏域市長会、中海・宍道湖圏域市議會議長会、中海・宍道湖圏域商工會議所、境港流通プラットフォーム協議会、環日本海経済活動促進協議会 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 竹内南地区貨客船ターミナルが計画(平成27年度～平成31年度)どおり整備されるように、要望活動を継続して実施する。 		

施策の展開方針

②内航RORO船定期航路開設	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 境港流通プラットフォーム協議会が中心となり、苫小牧港～敦賀港間の内航RORO船定期航路を境港まで延伸するトライアル輸送を実施した。 ■輸送実績：平成28年度：2回、平成29年度：4回 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、苫小牧港～敦賀港～境港間の内航RORO船試験輸送を実施するとともに、平成31年4月から予定されている敦賀港～博多港館RORO船新規航路の境港への途中寄港を働きかける。 		

施策の展開方針

③航路の利用促進と流通機能の向上	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 鳥取県、境港貿易振興会などの関係機関と連携して、航路の活性化に向けて取り組んだ。境港貿易振興会では、東京と米子での境港利用促進懇談会や中海・宍道湖・大山圏域内の行政及び商工担当者を対象とした境港研修会を開催したほか、上海での商談会へ出展し、境港-上海航路をPRを実施した。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、関係機関と連携して、船社・物流関係企業・荷主・寄港地等と接触を図り、航路の活性化に向けて取り組む。鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」への参画等を通じてロシアとの交流を進めるほか、鳥取県と吉林省の姉妹都市提携でさらなる交流の発展が期待される中国東北部との交流や物流ルート構築を進めていく。 		

施策の展開方針		
④ポートセールスと貿易支援の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、境港貿易振興会などの関係機関と連携して、航路の活性化に向けて取り組んだ。境港貿易振興会では、東京や米子での境港利用促進懇談会を通じて、港湾機能の強化の取組や、コンテナサービスの拡充を荷主企業等へ周知し、境港利用を呼び掛けたほか、上海での商談会を通じて、現地企業等に直接PRを実施した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・港湾機能や航路の充実等の情報を的確に関係者に周知することで、他港に流れている貨物の境港へのシフトや災害時のリダンダンシーとしての境港利用を図る。新たな物流ルートの構築やビジネスマッチング等の貿易支援によって、新たな貨物を創出する。 ※リダンダンシー…信頼性を増すために、何かに備えて余裕を付加すること。 		

施策の展開方針		
⑤境港ふ頭再編改良事業の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国及び山陰両県選出国會議員への要望活動の実施（再掲）。 ・日本港湾協議会等、各種港湾関係機関・団体の会議、イベント等への出席及び参画し、国土交通省や港湾関係団体への境港の重点整備を働きかけを行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き要望活動（再掲）に取り組むとともに、港湾関係機関・団体の会議・イベント等に継続して出席・参画する。 		

具体的施策	(2) 環日本海定期貨客船の利用促進
-------	--------------------

施策の展開方針		
①安定運航のための支援	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・自立安定化支援として鳥取県と中海・宍道湖・大山圏域市長会で協調して境港～東海間（50往復）の運航経費の一部（1往復につき100万円）を助成。鳥取県が7割（3,500万円）、市長会が3割（1,500万円）を負担。市長会の中の内訳は、米子市・松江市・出雲市・安来市は定額で計700万円を負担し、境港市は残額（800万円）を負担。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年6月末までは、支援を継続する方針。その後については、運航会社の経営状況を注視しながら、運航会社及び鳥取県との協議を踏まえ判断する。 		

施策の展開方針		
②利用促進活動の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県、境港貿易振興会などの関係機関と連携して、航路の活性化に向けて取り組んだ。境港貿易振興会では、境港利用促進懇談会や境港研修会を通じて、港湾機能の強化の取組や、コンテナサービスの拡充を荷主企業や行政担当者等へ周知し、境港利用を呼び掛けたほか、上海での商談会を通じて、現地企業等に直接PRを実施した。また、国際定期便利用促進協議会を通じ、グループ旅行への支援や旅行会社への商品造成支援を実施したほか、11月には境港利用客数が就航以来初めて年間3万人を突破し、記念行事を開催した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖・大山圏域の行政担当者や引き続き境港貿易振興会などの関係機関と連携して航路の周知や貨物の創出に取り組むとともに、米子ソウル便と組み合わせた旅行商品の造成等により、課題となっている日本人旅客の利用促進に取り組む。 		

具体的施策	(3) 米子鬼太郎空港の利用促進
-------	------------------

施策の展開方針

①国内定期路線の維持及び利用促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・全日空への路線充実の要望を行ったほか、米子空港利用促進懇話会を通じ鳥取県及び関係団体と連携し、旅行会社への商品造成支援等を行った。 ・米子鬼太郎空港フェスタの開催や、米子空港ビルとの連携により、空港のPRを通じ航空路線の利用促進を呼び掛けている。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き全日空に対し路線充実の要望を行うとともに、空港フェスタ等において米子鬼太郎空港のPRを行っていく。 		

施策の展開方針

②国際定期路線の維持及び利用促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国際定期便利用促進協議会を通じ、グループ旅行への支援や旅行会社への商品造成支援を行うとともに、週3便から週5便に増便したソウル便の増便継続の要望活動を行った。 ・平成29年度の搭乗者数は75,465人（ソウル便：48,621人 香港便：26,844人）と過去最多を記録した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ソウル便の週6便化、香港便の週3便化に伴い、搭乗率の向上が命題となっており、引き続き国際定期便利用促進協議会等、関係機関と連携し利用促進を図る。 		

施策の展開方針

③国際チャーター便の利用促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・米子空港利用促進懇話会を通じ、国際チャーター便等促進支援事業助成金の支給等の支援を行った。 ・平成29年度は11月8日～11月12日にベトナムとのチャーター便を運航し、乗降客数151人／提供座席数180人（利用率68.1%）。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き米子空港利用促進懇話会等、関係機関と連携してチャーター便の誘致活動及び運航への支援を行う。 		

具体的施策	(4) 市民レベルの国際交流の促進
-------	-------------------

施策の展開方針

①交流事業の促進と支援	評価	A
-------------	----	---

平成29年度取組実績

- ・友好都市である中国琿春市から国際交流員1名を招致し、交流活動の促進を図った。語学講座への講師派遣のほか、保育園訪問、市民交流や中国からの転校生に対する通訳支援など市民レベルの国際交流や国際理解の促進に取り組んだ。
- ・鬼太郎カップ駅伝競走大会にロシアから駅伝チームを招き、駅伝大会への参加及び小学生との交流を行ったほか、民間団体が実施する日韓高校生サッカー大会の運営を支援した。また、中国・北京市で開催された日中友好交流都市中学生卓球交歓大会へ中学生を派遣し、卓球を通じた日中間の交流を図った。

平成30年度以降の取組（予定）

- ・琿春市からの国際交流員の招致を継続し、市民レベルの交流の促進に取り組むとともに、実際の交流の基礎となる国際定期航路の維持拡充に取り組み、補助制度等を通じて、市民レベルの交流を後押しする。
- ・鬼太郎カップ駅伝競走大会に韓国・ロシアから駅伝チームを招き、駅伝大会への参加及び小学生との交流を行うほか、民間団体が実施する文化・スポーツ交流事業を支援する。
- ・また、クオアチアを拠点に活動するセーリングチームが市内でキャンプを実施するのにあわせ、市民歓迎会、中学生との交流事業を実施することにより、市民と選手との交流を図る。

施策の展開方針

②言語や文化の相互理解の促進	評価	A
----------------	----	---

平成29年度取組実績

- ・友好都市である中国琿春市から国際交流員1名を招致し、交流活動の促進を図った。語学講座への講師派遣のほか、保育園訪問、市民交流や中国からの転校生に対する通訳支援など市民レベルの国際交流や国際理解の促進に取り組んだ。このほか、青少年スポーツ交流の支援に取り組んだ。また、市内企業で受け入れている外国人技能実習生との交流事業を実施し、相互理解を促進した。

平成30年度以降の取組（予定）

- ・琿春市からの国際交流員の招致を継続し、地域における他国の文化の理解や、市民レベルの交流を通じた相互理解の促進に取り組むとともに、実際に相互の行き来を行うための基礎となる国際定期航路の維持拡充に取り組み、補助制度等を通じて、市民レベルの交流を後押しする。また、外国人技能実習生との交流事業を引き続き実施するとともに、市内在住外国人が生活するための日本語の習得を目指した日本語教室の開設に取り組む。

具体的施策	(5) 港湾周辺区域の賑わい創出（クルーズ客船受入、水族館ほか）
-------	----------------------------------

施策の展開方針

①ポートセールス及び観光プロモーションの推進	評価	A
------------------------	----	---

平成29年度取組実績

- ・クルーズ客船の寄港に際し、二次交通の確保や観光案内、通訳の確保、クルーズ客船おもてなしサポーターによるおもてなし等を行った。
- ・平成29年度は寄港回数は61回、乗客数66,477人。

平成30年度以降の取組（予定）

- ・引き続き中海・宍道湖・大山圏域で連携して地域の文化や芸能を披露し、おもてなしを行う。
- ・「境港クルーズ客船おもてなしサポーター」を「SAN-INまんなかクルーズファン」と名称を改め、お見送り活動の充実を図り乗船客の満足度を高め、次回の寄港につながる誘致活動を行う。

施策の展開方針		
②外国人観光客受入体制の整備	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船寄港時に岸壁から境港駅までのシャトルバスの運行や外国語対応が可能な観光案内デスクを設置、通訳案内ボランティアの確保等により体制を整備した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続きシャトルバスによる二次交通の確保や外国語対応可能な観光案内デスクの設置、外国語表記の推進等を行う。 民間企業を中心に組織された「鳥取県西部地域活性化協会」が外国人向け決済用タブレットの普及促進を図っており、市としても支援を行う。 		

施策の展開方針		
③外国人観光客対応力の強化	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船乗船客のためのシャトルバスを運行したほか、平成28年度に整備した水木しげるロードのブロンズ像の多言語紹介システムのPRを行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き岸壁から境港駅までのシャトルバスを運行し、市内及び圏域での周遊性を高めるとともに外国人観光客の受け入れ態勢の整備を行う。 民間企業を中心に組織された「鳥取県西部地域活性化協会」が外国人向け決済用タブレットの普及促進を図っており、市としても支援を行う。 		

施策の展開方針		
④水族館構想の検討	評価	B
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 官民で組織する「竹内南地区賑わいづくり検討会」を3回開催し、検討を重ねた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「竹内南地区賑わいづくり検討会」において、情報共有及び意見交換を図るとともに、市の財政状況を見極めた上で、慎重に検討していく。 		

具体的施策	(6) インバウンド観光の推進
-------	-----------------

施策の展開方針		
①外国人観光客受入体制の整備[再掲]	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船寄港時に岸壁から境港駅までのシャトルバスの運行や外国語対応が可能な観光案内デスクを設置、通訳案内ボランティアの確保等により体制を整備した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続きシャトルバスによる二次交通の確保や外国語対応可能な観光案内デスクの設置、外国語表記の推進等を行う。 民間企業を中心に組織された「鳥取県西部地域活性化協会」が外国人向け決済用タブレットの普及促進を図っており、市としても支援を行う。 		

施策の展開方針		
②外国人観光客対応力の強化[再掲]	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船乗船客のためのシャトルバスを運行したほか、平成28年度に整備した水木しげるロードのブロンズ像の多言語紹介システムのPRを行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き岸壁から境港駅までのシャトルバスを運行し、市内及び圏域での周遊性を高めるとともに外国人観光客の受け入れ態勢の整備を行う。 ・民間企業を中心に組織された「鳥取県西部地域活性化協会」が外国人向け決済用タブレットの普及促進を図っており、市としても支援を行う。 		

施策の展開方針		
③広域連携による一体的な観光振興	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖・大山圏域市長会インバウンド機構を設立し、圏域が一体となって外国人誘客・国内誘客を行うとともに圏域の魅力アップにかかる施策を実施した。 ・本市を中心に5市が連携してクルーズ客船乗客及びクルー向けに各市の伝統芸能披露や日本文化の体験等を実施した。 ・JRと連携した京阪神地区主要駅での観光PRやプレ大山開山1300年祭等の圏域内でのイベントを三大都市圏へPRした。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・大山開山1300年祭の連携事業として「水木しげるロード・リニューアル」のPR事業を実施し、本市及び西部圏域の誘客を図った。 ・引き続き中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構や山陰インバウンド機構等、広域での連携を図りながら圏域の魅力アップにつながる事業への取り組みを行う。 		

具体的施策	(7) 中海・宍道湖・大山圏域連携事業の推進
-------	------------------------

施策の展開方針		
①活力にあふれる圏域づくり（産業振興）	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に設立された鳥取県版「ロシア中小企業・人的交流分野における協力プラットフォーム」に参加し、定期貨客船航路で繋がるロシアにおけるビジネス展開の定着と販路拡大に向けて取り組んだ。 ・国内交通網の充実に向けた高速道路や高速鉄道の早期整備に向けた要望活動を実施した。 ・境港クルーズ客船環境づくり会議を中心とした客船誘致に向け取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は境港からロシア・ザルビノを経て、中国吉林省の長春を結ぶ物流ルート構築をめざし、DBS航路を活用した境港ーロシア・ザルビノ間のトライアル輸送を実施した。 ・引き続き、中海・宍道湖・大山圏域市長会構成市や境港貿易振興会等と連携し、境港の利用促進・クルーズ客船の誘致・交通網の充実に向けた要望等に取り組んでいく。 		

施策の展開方針		
②訪ねてみたい圏域づくり（観光振興）	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国内への観光プロモーション（首都圏、関西圏、中京圏）を初めとした誘客活動や外国人観光客の受入環境整備等、インバウンド対策に取り組んだ。 ・関係団体と連携して、「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」を設立した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構」を中心としたインバウンド対策や「大山1300年祭」後の取り組みについて、大山山麓観光推進協議会の再編を含め調査・検討を進める。 		

施策の展開方針		
③住みたくなる圏域づくり（環境の充実）	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境学習「中海・宍道湖自然体験クルーズ」や「ラムサールシンポジウム」「ウンパくんのスタンラリー&宝さがしゲーム2」等の開催により、環境保護の意識高揚と圏域内外の交流人口の拡大が図られた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、圏域の豊かな自然環境等の学習及び関係機関と連携した情報発信を行う。 ・安全に安心して暮らすことのできる環境づくりを目指し、圏域が一体となり、広域的な防災体制の構築に向けた取り組みを行う。 		

施策の展開方針		
④ともに歩む圏域づくり（連携と協働）	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府が実施する地方創生のための人材育成プログラム「地方創生カレッジ官民連携講座」や「山陰まんなか未来創造塾」に行政及び経済関係者が参加することで、圏域を担う人材育成、人的な交流を通じた広域的な人的ネットワークの構築に取り組んだ。 ・圏域内の夏祭りやイベントにおける文化団体や芸能団体等の招致・交流に取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、官民が連携した人材育成の研修、意見交換会、イベントにおける団体の招致・交流に取り組む。 		

具体的施策	(8) 国・県事業の促進（高速道路網整備、貨客船ターミナル整備ほか）
-------	------------------------------------

施策の展開方針		
①境港ふ頭再編改良事業の推進[再掲]	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国及び山陰両県選出国會議員への要望活動の実施（再掲）。 ・日本港湾協議会等、各種港湾関係機関・団体の会議、イベント等への出席及び参画し、国土交通省や港湾関係団体への境港の重点整備を働きかけを行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き要望活動（再掲）に取り組むとともに、港湾関係機関・団体の会議・イベント等に継続して出席・参画する。 		

施策の展開方針		
②圏域内外を結ぶ高速道路ネットワークの整備	評価	A
平成29年度取組実績		
<p>【米子～境港間の高規格道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「境港市・米子市連携懇談会」において、両市を結ぶ高規格道路に関し、ルート案の検討を進めるなど整備に向けた議論をスピード感を持って進めることで一致。 ・「米子・境港地域と道路のあり方検討会」の具体的な検討組織(WG)である「まちづくりWG」と「ストック効果WG」を2回開催。「まちづくりWG」においては、WGとして最終的にとりまとめる素案を作成。「ストック効果WG」においては、米子～境港間の高規格道路の必要性や整備効果を調査するため、企業ヒアリングを実施。 <p>【境港出雲道路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「松江北道路」、川津IC(松江だんだん道路)～松江イングリッシュガーデンの西側付近を結ぶ区間で検討が進められていた3つのルート案について、最終的に選定したルートを公表。 <p>【山陰道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取西道路」、鳥取西IC～青谷IC L=17.5kmのうち、鳥取西IC～浜村鹿野温泉IC間L=12.8kmを平成30年以内に開通する予定となっていたが、地元の要望を踏まえ、平成31年夏迄に全線一体での開通を目指す。 <p>【中国横断自動車道岡山米子線の4車線化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付加車線設置検証路線に選定され、暫定2車線から4車線化への整備が決まっていた江府IC付近から南側3.4kmの区間の工事に着工。平成32年度の完成を目指す。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内外の「ひと」と「もの」の移動や流通の一層の利便性向上を目指し、高速道路ネットワーク整備や機能強化を、圏域が一体となって国や関係機関に要望していく。 ・「米子～境港間の高規格道路」については、国へ高規格道路の整備に向けた道路のあり方について検討することを要望するとともに、ルート案については、将来のまちづくりやメリット・デメリット等を比較しながら関係自治体と連携して協議を進めていく。 		

基本目標	2 全国ブランド「さかな」と「鬼太郎」を生かした経済振興
------	------------------------------

具体的施策	(1) 高度衛生管理型漁港・市場整備の促進
-------	-----------------------

施策の展開方針		
①境漁港の高度衛生管理型漁港・市場の整備	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・6号岸壁増深工事：平成29年6月工事完了。 ・5号上屋改修工事：平成29年8月工事完了、供用開始。 ・陸送上屋・1号上屋新築工事を継続。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・境港地区高度衛生管理基本計画、特定漁港漁場整備事業計画に基づき、漁港・市場整備を進める。 ・平成30年11月陸送上屋完成。平成30年4月1号上屋が完成予定。平成30年6月には陸送上屋・1号上屋を高度衛生管理型市場として供用開始予定。 		

施策の展開方針		
②電動フォークリフトの導入支援	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・電動フォークリフトの調達時期を平成30年度としたことから、導入経費の一部を補助する事業の実施を平成30年度に変更。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し、電動フォークリフトの導入経費の一部を補助する高度衛生管理型市場移行円滑化事業を実施。 		

具体的施策	(2) 境港ブランドの積極的情報発信
-------	--------------------

施策の展開方針		
①情報発信の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロード・リニューアル工事期間中の観光客減少対策として、フォトコンテストを実施し、誘客を図るとともにSNSによる情報発信を実施した。 ・11月に東京都調布市で開催された「ゲゲゲ忌」、徳島県三好市で開催された『怪フォーラム』に参加し、水木しげるロードをPRするとともに交流を図った。 ・水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭等各種イベント開催を支援するとともに、産地協議会等の活動を通じて、魚食普及、情報発信等実施。 ・平成29年9月に「みんなで選ぶ境港の水産加工大賞」を開催。 ・市内の保育園等で、フィッシュ・キッチンやおさかな探検、ギンザケ集会、マグロ集会、カニ集会等食育活動を実施。 ・沿岸漁業者と園児との交流事業を実施。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロード・リニューアル完成イベントを実施し、県内外にリニューアルをPRするとともに水木しげるロード振興会等の関係団体と連携し、官民あげてイベントを行った。 ・引き続き、関係団体等の連携を図り、魅力的なイベントの実施による集客の維持・拡大、また、食育活動等を通じた、魚食普及に努めていく。 		

施策の展開方針		
②新たな賑わいの創出	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげる作品の根幹である「妖怪文化」を後世につなげることを目的に、「水木しげる生誕祭」を鳥取県との共催により開催した。 ・水木しげるロード・リニューアル工事期間中の観光客減少対策として、フォトコンテストを実施し、誘客を図るとともにSNSによる情報発信を実施した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロード・リニューアルにより整備された「夜間演出照明」が新たに加わったことにより夜の魅力が向上し、通過型観光から滞在型観光へと移行を図った。 ・地元有志を中心として約30年ぶりに復活した『土曜夜市』、『妖怪ハロウィン』などのイベントの開催により新たな賑わいを創出した。 ・水木しげる記念館の会館時間を延長するとともに「妖怪文化伝承事業」として記念館前庭で記念館館長による「妖怪のお話」を行った。 		

施策の展開方針		
③観光客受入体制の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖・大山圏域市長会インバウンド機構を設立し、圏域が一体となって外国人誘客・国内誘客を行うとともに圏域の魅力度アップにかかる施策を実施した。 ・市内及び圏域での観光周遊を促すため、中海宍道湖大山圏域の共有スマートフォンアプリ「縁むすびスマートナビ」による観光PRを実施した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き中海・宍道湖・大山圏域市長会インバウンド機構による圏域のPRを行うとともに「縁むすびスマートナビ」を活用した観光PRを実施する。 		

施策の展開方針		
④水産物の販路拡大	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、関西圏における商談会やイベント等に参加し、境港水産物等のPR等実施。 ・首都圏の百貨店等で境港水産物等をPR。 ・輸出手続きの簡素化等のため、鳥取県境港水産物輸出入促進協議会で漁獲証明書の発行業務を開始。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関東、関西圏における商談会やイベント等に参加し、境港水産物等のPR等に取り組む。 ・海外店舗への鮮魚輸出等海外市場への販路開拓に取り組む。 		

施策の展開方針		
⑤水産物のブランド力強化	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭等各種イベント開催を支援するとともに、産地協議会等の活動を通じて、「産地境港」を全国に情報発信。 ・活ガニ水槽を整備し、カニの鮮度向上による付加価値向上を図る加工業者に対し、整備経費の一部を補助。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、水産まつり等各種イベント開催、魚食普及等を通じて「産地境港」を積極的に情報発信する。 ・境港産水産物、水産加工品の付加価値向上に取り組む。 ・水産の研究施設の誘致の可能性等について引き続き検討。 		

施策の展開方針		
⑥ふるさと納税制度を活用した情報発信	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の外部ポータルサイトに寄附申込窓口を開設し、インターネットを通じて特産品（境港ブランド）の情報発信に取り組んだ。 ・返礼品カタログを前年度寄附者に送付するとともに、境港出身者が集まる会での配布や自治体アンテナショップ等へ配架するなど市のPRの機会を捉え、情報発信に努めた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、インターネットやカタログ送付による特産品（境港ブランド）の情報発信に取り組む。 ・境港ならではの魅力あふれる特産品を提供し、全国へ向けたPRに取り組む。 		

具体的施策	(3) 水木しげるロードリニューアルの早期完成、街並み整備
-------	-------------------------------

施策の展開方針		
①すべての人にやさしく、誰もが楽しめる道づくり	評価	S
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロードリニューアル工事に着手（平成29年5月～） 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロードリニューアル工事が完成し、リニューアルオープン（平成30年7月14日） ・案内板、車止め等の付属設備を整備（予定） 		

施策の展開方針		
②活気あふれ、また来たくなる質の高い「おもてなし」	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロードの沿道で構成する「水木しげるロード街なみ環境整備運営協議会」が発足し、「水木しげるロード街なみ環境整備協定」を策定（平成29年12月） ・街なみガイドラインを作成（平成30年3月） ・境港市街なみ環境整備事業補助金要綱を制定（平成30年3月） 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・境港市が「水木しげるロード街なみ環境整備協定」を認定（平成30年7月） ・境港市街なみ環境整備事業補助金の受付を開始（平成30年7月） 		

具体的施策	(4) 水産と観光の連携
-------	--------------

施策の展開方針		
①「食」による観光の魅力づくり	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・東京都調布市で開催された「ゲゲゲ忌」、本市で開催された「水木しげる生誕祭」、「怪フォーラム」等の水木関連イベントにおいて、ベニズワイガニや水産加工品のPRを実施し、境港市の食の魅力をPRした。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロード・リニューアル完成イベントで行った『ゲゲゲ食堂』など水木関係のイベントを中心に引き続き本市の特産品である『さかな』のPRを実施する。 		

施策の展開方針		
②「魅せる漁業」の充実化	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水産物の水揚げやセリ等が見学できる「境漁港見学ツアー」や沿岸漁業者が水産物を直接販売する「中野港漁村市」等の開催を支援し、「魅せる漁業」の取組みを進めた。 ・「境漁港見学ツアー」では、外国人の参加者が増加。(平成29年:136人、平成28年:58人) 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「境漁港見学ツアー」「中野港漁村市」等、多くの「魅せる漁業」の開催を支援するとともに、更なる内容の充実に取り組む。 		

施策の展開方針		
③体験型メニューの造成	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロードでの「妖怪スタンプラリー」や「漁港見学ツアー」をJR・旅行会社や県外での観光プロモーションの場でPRを行った。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「妖怪スタンプラリー」や「漁港見学ツアー」等の体験型メニューをPRするとともにH31年度に開通予定の弓ヶ浜サイクリングロードを活用した体験型メニューを検討する。 		

具体的施策	(5) 観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進
-------	--------------------------

施策の展開方針		
①観光ブランドイメージの形成と定着	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「水産まつり」をはじめとする水産関係のイベントや「水木しげる生誕祭」をはじめとする水木関係のイベントなど『さかなと鬼太郎のまち』という観光イメージの確立をめざしPRを行った。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・7月にリニューアルした水木しげるロードをJRと連携した京阪神地区主要駅での観光PRや関東・東海・関西圏での観光商談会に参加し、『さかなと鬼太郎のまち』境港のPRを行った。 		

施策の展開方針		
②夜の魅力度向上	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロードのリニューアル工事期間中の冬季の観光客減少対策として、夜間のイルミネーションを実施した。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロード・リニューアルにより整備された「夜間演出照明」が新たに加わったことにより夜の魅力が向上し、通過型観光から滞在型観光へと移行を図った。 ・地元有志を中心として約30年ぶりに復活した『土曜夜市』、『妖怪ハロウィン』などのイベントの開催により新たな賑わいを創出した。 ・水木しげる記念館の会館時間を延長するとともに「妖怪文化伝承事業」として記念館前庭で記念館館長による「妖怪のお話」を行った。 		

施策の展開方針		
③体験型レジャーの造成	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・水木しげるロードでの「妖怪スタンプラリー」や「漁港見学ツアー」をJR・旅行会社や県外での観光プロモーションの場でPRを行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「妖怪スタンプラリー」、「漁港見学ツアー」をPRするとともに大山開山1300年祭と連携し、謎解きをしながら圏域を周遊する「大山山麓謎解き宝探し」を実施した。 		

具体的施策	(6) 企業誘致と創業支援による雇用の創出
-------	-----------------------

施策の展開方針		
①企業誘致の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市の各種支援制度を活用し、市内企業の規模拡大や、市外からの企業誘致推進を図った。 ・平成29年度進出企業 3社 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市外からの企業誘致活動を実施し、地域活性化、雇用促進に繋げる。 ・平成30年度進出企業 2社 		

施策の展開方針		
②創業支援の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置、補助制度整備、西部地域の自治体・商工団体との連携により創業支援に積極的に取り組むことで新たな雇用の場が創出されている。 ・平成29年度補助金実績 5社 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、相談窓口、西部地域の関係機関と連携し、創業支援に積極的に取り組む。 		

施策の展開方針		
③人材確保の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・10月、市内企業の人材育成や確保支援を図り、一体的かつ総合的な雇用や労働に関する施策の実現と諸課題への対応を目的に、鳥取労働局、米子公共職業安定所と「雇用対策協定」を締結（山陰両県の市町村では初）。 ・商工団体への要望活動や、中海圏域4市（境港、米子、松江、安来）によるWEBサイトの運営、イベントへの参画を通じUIJターンの促進を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「雇用対策協定」の締結を受け、国の職業案内機能等と地方公共団体の産業施策、雇用施策及び福祉施策等を密接に連携させ、一体的に業務を実施することを目的とした協議会を新たに設置。 ・あわせて策定した運営計画に沿い、関係機関連携した取り組みを図る。 		

具体的施策	(7) 伝統的地域資源「伯州綿」のブランド化
-------	------------------------

施策の展開方針

①栽培の効率化	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・伯州綿畑に防草シートを設置して栽培時の除草作業の軽減に取り組み、収穫量の安定化を図った。 ・交流会を通じてサポーター同士の交流を図り、サポーターの増員を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・防草シートのほか、マルチを組み合わせたり、肥料の量を変えるなどの試験区画を設け、作業負担の軽減や綿の品質向上に取り組む。 		

施策の展開方針

②ブランド化に向けた体制づくり	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊が中心となって、外部アドバイザーの助言を得ながら、関係団体等と連携して、幅広い層へ向けて伯州綿をPRした。 ・気軽に手に取っていただきやすい商品として手拭を制作し、催事（てぬぐいひらひら）を通じて、展示・販売を行い、これまで伯州綿に馴染みが少なかった市民が伯州綿に触れる機会を作り、知名度の向上を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業と連携して商品の企画・開発・販売に取り組むほか、好評だった催事を引き続き開催し、さらなる定着を図る。 ・WEBサイト等を活用して情報発信を行うとともに、伯州綿に関心を持った方が必要な情報にアクセスしやすい環境を作っていく。 		

施策の展開方針

③伯州綿のブランド化	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊が中心となって、外部アドバイザーの助言を得ながら、関係団体等と連携して、幅広い層へ向けて伯州綿をPRした。 ・気軽に手に取っていただきやすい商品として手拭を制作し、催事（てぬぐいひらひら）を通じて、展示・販売を行い、これまで伯州綿に馴染みが少なかった市民が伯州綿に触れる機会を作り、知名度の向上を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業と連携して商品の企画・開発・販売に取り組むほか、好評だった催事を引き続き開催し、さらなる定着を図る。 ・WEBサイト等を活用して情報発信を行うとともに、伯州綿に関心を持った方が必要な情報にアクセスしやすい環境を作っていく。 		

基本目標	3 一人ひとりを大切にした教育と福祉の充実
------	-----------------------

具体的施策	(1) 少人数学級の実施や指導補助員の配置など教育環境の充実
-------	--------------------------------

施策の展開方針

①学習支援の充実	評価	A
----------	----	---

平成29年度取組実績

- ・小学校1・2年生の30人学級、3～6年年生の35人学級、中学校1年生の33人学級、2・3年生の35人学級の少人数学級を実施すると共に、各小・中学校2名の学習指導補助員を配置し、きめ細やかな学習支援が行える教育環境を整えた。
- ・小学校の外国語科及び外国語活動の先行実施に伴い、英語指導助手（ALT）の配置を増やした。

平成30年度以降の取組（予定）

- ・引き続き、少人数学級の実施と、各小・中学校2名の学習指導補助員の配置を行う。
- ・先行実施を行っている小学校外国語科及び外国語活動、また中学校の外国語科における「話す・聞く」の資質・能力を向上させるため、英語指導助手（ALT）の配置を増やす。

施策の展開方針

②特別支援教育の充実	評価	A
------------	----	---

平成29年度取組実績

- ・特別支援コーディネーターを1人配置し、保育園・幼稚園及び小・中学校と連携し、就学支援及び個別支援（保護者相談）等について、専門的な支援を行った。
- ・通級指導教室担当教員及び学習障がい（LD）等専門員と連携し、発達障がいをはじめとする通常学級において支援を要する児童・生徒に対する専門的な支援を行った。

平成30年度以降の取組（予定）

- ・特別支援コーディネーターの配置を継続し、引き続き関係機関との連携・支援を充実させていく。
- ・保育園、幼稚園及び小・中学校等への研修派遣を継続して行う。

施策の展開方針

③小中一貫型教育の推進	評価	A
-------------	----	---

平成29年度取組実績

- ・小学校と中学校の連携を通して、学習指導や生徒指導、特別支援教育等について情報を共有し、相互理解をもとに9年間を意識した連携の推進を図った。
- ・中学校区ごとのコミュニティ・スクールの導入準備に入った第一中学校区において、9年間で育てたい子どものビジョンについて、検討・協議を始めた。

平成30年度以降の取組（予定）

- ・第三中学校区及び第二中学校区について、中学校区をまとまりにしたコミュニティ・スクールの導入準備を進め、中学校区で育てたい子どものビジョンづくり、9年間で育てたい力等について熟議し、小中一貫型の教育を推進する。

施策の展開方針		
④持続可能でより良い学校の在り方の検討	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校適正配置庁内連絡調整委員会を立ち上げ、校区審議会から出された最終答申について、答申内容の実現に向けた検討・協議を行い、平成32年に誠道小学校を余子小学校と統合する方針を教育委員会に報告した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・校区審議会の最終答申で出された「将来的な小中学校の編成の在り方」について、開設時期及び校区等を含め、総合的な検討を進めていく。 ・誠道小学校と余子小学校の統合に向けた準備委員会を立ち上げ、具体的な計画・準備内容について協議を行う。 		

具体的施策	(2) 道徳教育・国際理解教育・英語教育の充実
-------	-------------------------

施策の展開方針		
①道徳教育の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では平成30年度、中学校では平成31年度に完全実施される「特別の教科 道徳」（道徳科）に対して、教科化に至った趣旨を含めた職員研修及び研究授業等を行い、道徳教育の充実に向けた準備を行った。 ・若手教員に対して、道徳教育の実践についての研修を実施した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・各教科や各領域及び体験活動等と道徳教育を関連づけ、学校教育活動全体で道徳教育が充実するよう指導及び支援を充実させていく。 ・議論する道徳授業及び評価について、各小・中学校での研修及び研修会についての指導及び支援を充実させていく。 		

施策の展開方針		
②国際理解教育の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生徒9名が、ロシアと関わりのある北海道根室市を訪れ、日本とロシアの交流の歴史と現在の課題等について学習を行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、外国の多様な文化に触れることで、国際理解を深め、英会話によるコミュニケーション力向上と国際交流の重要性を認識させるため、中学生9名をシンガポール共和国に派遣した。今後も海外への派遣を継続していく。 		

施策の展開方針		
③英語学習の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生を対象とした土曜英語学習「境港うきうきイングリッシュ」を年間8回実施し、英語に親しむ学習の機会を設けた。 ・民間委託によるALTを2名配置するとともに、中学校でスコア型英語テスト「GTEC」を実施し、英語指導の充実を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・土曜英語学習「境港うきうきイングリッシュ」を継続実施し、また、小学校での英語授業の拡大に伴い、ALTの配置を段階的に増やしていく。 ・中学校でスコア型英語テスト「GTEC」では、平成30年度にスピーキングテストを加えて実施した。今後も継続して実施していく。 		

具体的施策	(3) 地産地消・食育の推進
-------	----------------

施策の展開方針

①健全な食生活の実践のための食育の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・園児が自ら調理を行うフッシュキッチン、給食に使用する食材の下処理のお手伝いや菜園活動など、子どもたちの五感を通じた体験を増やししながら、食事についての望ましい習慣を学び、食を楽しむ機会の増加に努めた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・フィッシュキッチンをはじめとした事業を継続実施し、子どもたちの体験を大切にしながら、食育の推進を図っていく。 		

施策の展開方針

②郷土愛醸成に向けた協働による食育の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内保育園幼稚園でマグロやカニなど境港を代表する食材を利用した食育集会やフィッシュキッチン、漁師交流など、生産者(港ベジターズ等)、地域ボランティア(境港ベニガニ有志の会、食生活改善推進員、地元漁業者など)とともに協働で実施した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き農業、漁業、加工流通業、食育活動に取り組む地域の方々等と連携をとりながら、食育活動に取り組んでいく。 		

施策の展開方針

③安心・安全でおいしい学校給食の提供	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の質の向上を図るための取組を実施した。(新メニュー18品を提供、衛生管理講習会の開催、業務改善) ・センター所属の栄養士が学校を訪問し、食育指導を述べ273回実施した。 ・地場産品活用の取組として、のどぐろ、ジビエ(猪肉)を提供した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の質の向上を図るため、引き続き、新メニューの提供、調理員のスキルアップ、衛生管理の向上等に積極的に取り組む。 ・学校栄養教諭及び学校栄養職員を中核とした食育を行う。 ・新たな地場産品の活用に取り組む。 ・学校給食米の田植え・稲刈り体験や料理教室等の食についての学習の場を提供する。 ・平成31年度から、給食調理等業務を民間事業者へ委託する予定。 		

施策の展開方針

④食生活改善推進員の人材育成、活動支援	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員会の地区活動(年間111回、参加述べ人員3,544人)に対する支援のための助成事業を継続。(＠20,000円×7地区) ・食生活改善推進員(7地区) 平成29年度:212名(うち男性1名) 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員会の地区活動に対する支援のための助成事業を継続。 ・食生活改善推進員の活動がスムーズに実施できるよう、事前学習会や研修会を実施。 		

具体的施策	(4) 生涯学習の推進や地域文化・歴史の継承
-------	------------------------

施策の展開方針

①公民館活動の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のニーズの把握に努め、ニーズに対応した学習機会を提供した。 ・公民館職員が積極的に県や市が開催する研修会等に参加し、社会教育に関する知識力の向上に努めた。それを活かし、公民館が地域コミュニティの核となるように、公民館の機能を高めるように努めた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ニーズの把握に努め、ニーズに対応した公民館活動のさらなる充実を図る。 		

施策の展開方針

②生涯読書活動の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートや読み聞かせ活動など、胎児から高齢者まで生涯を通じた読書活動の推進に取り組んだ。また、読書活動推進大会を開催し、読書の楽しさ・大切さを伝えた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ブックスタート、小・中学校の読み聞かせや読書活動推進大会の開催など様々な読書活動の推進に努める。 		

施策の展開方針

③体育活動の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・鬼太郎カップ境港駅伝競走大会や市民体力テストの開催、体育協会や各地区が実施する体育行事への助成を行うことにより、市民の体育活動の促進に努めた。 ・体育施設を適正に管理し、市民が日常的に体育活動を行える環境づくりに取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、体育行事の開催、各種団体が実施する体育行事への支援を行うとともに、施設を適正に管理することにより、日常的に体育活動を行える環境づくりに取り組んでいく。 		

施策の展開方針

④文化活動の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市美術展覧会やピアノコンクール、菊花展を開催したほか、文化協会等各種団体が行う自主事業への助成、文化ホール等の文化施設の管理運営など、市民が文化に親しめる環境づくりに取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・各種文化活動を開催するほか、各種団体による文化活動を支援することにより、文化に親しめる機会を市民に提供していく。 ・境港市民交流センター（仮称）の整備だけでなく、既存の文化施設を適正に管理することにより、市民が日常的に文化活動を行うことができる拠点の整備に努める。 		

施策の展開方針		
⑤文化財の保存・活用・周知	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会を開催し、文化財の保存・活用方法を検討した。また、市内に残る伝統行事の保存・継承を図るため、「竹内町のオコニヤ」の調査、トンド行事・弓浜緋の保存・継承へ向けての活動に協力した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会にて文化財の保存・活用方法を検討するほか、文化財所有者が行う文化財保存の取り組みを支援していく。伝統行事の保存・継承へ向けては引き続き実施団体の活動を支援していく。また、市民が地元の歴史に関心を持ち、文化財に親しんでもらえるよう、文化財の周知に努めていく。 		

施策の展開方針		
⑥一人ひとりの人権を尊重した住みよいまちづくりの推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市内7地区のうち、4地区(外江、境、上道、余子)において、人権学習地区巡回講座「すごろくゲーム」を実施し、参加者全員で「世界人権宣言」と「日本国憲法」にふれながら様々な「人権」について考え、人権意識の向上に努めた。 ・また「絆ははぐくむ人権のまちづくり」をテーマにした「境港市人権ふれあいフェスティバル」の開催や、強調月間等において機を捉えた講座、講演会を開催し、人権尊重社会の実現に向けた啓発を行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会や地域の様々な人権問題を正しく理解し、一人ひとりを大切に、人権を尊重した住みよいまちづくりを推進していくため、鳥取県や境港市人権教育推進協議会、各種関係団体と連携しながら、人権意識の向上に努める。 		

具体的施策	(5)結婚から子育てまでの総合的支援の推進
-------	-----------------------

施策の展開方針		
①出合いの場の創出	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖・大山圏域で一体となり結婚支援事業を実施した。(米子市、松江市の2会場で参加者151名) ・とっとり出合いサポートセンター「えんトリー」と連携して、「出合いサポーター」の募集や会員登録者数の増加に向けたPRを行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、中海・宍道湖・大山圏域で一体となり結婚支援事業を実施していく。 ・とっとり出合いサポートセンター「えんトリー」と連携して、会員登録者数の増加に向けたPRを行うとともに、出張登録会や相談会等の開催に取り組む。 		

施策の展開方針		
②地域における子育て支援の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行する子育て情報誌を、保育関係施設に加え、各地区公民館にも配布し、掲示してもらっているほか、市報に子育てに関するコーナーを常設するなど情報提供に取り組んだ。 ・子育て支援サービスの利用機会の向上については、地域子育て支援センターひまわりのバリアフリー化、トイレ改修、おむつ交換台の設置、駐車場整備等の工事を実施し、利用者が使いやすい施設になるようリニューアルした。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き情報発信の充実や子育て支援サービスの利用を促し、子育てに関する不安の解消に取り組んでいく。 		

施策の展開方針		
③子育て家庭に対する支援	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスの充実に努め、4月1日時点での保育所待機児童数0人を維持した。 ・第3子の無償化や低所得世帯の保育料減額など、保護者の経済的負担の軽減に努めた。 ・保育の受け皿を確保するため、小規模保育施設2園の新規開園に対して補助を行った。 ・支援が必要な園児への関わり方を学ぶため、公立私立を問わず市内の全園の保育士を対象とした研修会を実施し、保育士の資質向上に努めた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き保育サービスの充実に努め、4月1日時点での保育所待機児童数0人を維持できるよう取り組んでいく。 ・引き続き子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組む。 ・保育士を対象とした研修活動を充実し、資質向上に取り組む。 		

施策の展開方針		
④豊かな心を育む教育の推進と子どもの健全育成	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・アートスタート事業、命の学習授業など、子どもの感性を刺激し、コミュニケーション力の向上、命の大切さを学ぶなどの学習機会を提供することで、子どもの健全育成に取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・アートスタート事業、命の学習授業など、引き続き子どもの感性を育むような事業や命の大切さを伝える事業を子どもに提供し、健全育成に欠かせない自己肯定感の醸成を推進していく。 		

施策の展開方針		
⑤子育てと仕事の両立支援	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日時点での保育所待機児童0人を維持するとともに、休日保育、延長保育、一時預り、病児病後児保育、ファミリー・サポート・センターの運営等、保護者の就労と子育ての両立を支援するための事業を実施した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・私立園との連携強化、情報共有に努め、引き続き保育所待機児童数0人の維持に努める。 ・休日保育等の特別保育やファミリー・サポート・センターの運営を引き続き行い、保護者の就労と子育ての両立が図られるよう取り組んでいく。 		

施策の展開方針		
⑥女性活躍、ワークライフバランスの推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の男女共同参画推進計画の実施状況を公表した。 ・平成31年度からの境港市男女共同参画推進計画(女と男とのいきいきプラン)の改訂に向け、市民意識調査を実施した。 ・境港市男女共同参画推進審議会を2回開催し、市における男女共同参画推進の状況を報告し、女性活躍及びワークライフバランスの推進を含む第3次境港市男女共同参画推進計画について協議を重ねた。 ・女性活躍・ワークライフバランスの推進を実践している企業の事業主による講演会や、災害時避難所での女性の参画を呼びかけるワークショップを開催し、啓発と推進に努めた。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査を基に「女性活躍推進計画」と一体化した「第3次境港市男女共同参画推進計画(平成31年度～平成35年度)」を策定する。概要版を作成し、広く周知・啓発する。 ・将来像として掲げている「心豊かで活力ある男女共同参画のまち境港」の実現に向けた、取組を推進する。 		

施策の展開方針		
⑦要保護児童等への対応ときめ細かな取組みの推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童等については、要保護児童対策地域協議会の枠組みにより、保育園、小中学校、医療福祉などの関係機関が連携して対応した。 ・ひとり親家庭等の児童を対象とした土曜学習会を実施し、学校以外で勉強する機会を提供するとともに、保護者の育児負担の軽減を図った。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童等への対応については、要保護児童対策地域協議会を中心とした児童虐待の防止に引き続き取り組んでいくほか、子育て世代訪問支援事業を新たに実施するなど、支援を必要とする方との顔の見える関係づくりを進めていく。 		

施策の展開方針		
⑧母子保健事業の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より境港市子育て包括支援センター(保健相談センター内)を開設し、専門の母子保健コーディネーターを配置。全ての妊婦の個別面談、妊産婦等の状況を継続的に把握している。新生児家庭訪問、両親学級等の母子保健事業、子育て支援サービスによる妊娠期から子育て期(就学前)にわたる切れ目のない総合的なサポートを実施。 ・特定不妊治療、人工受精に要する経費の一部助成を国、県制度の対象者に継続実施するとともに、不妊相談を開催。また、平成29年度より不妊検査、一般不妊治療(保険適用治療)に要する経費の一部助成を開始。 ・新生児聴覚検査費用の助成(1人2,000円限度)を開始。 ・歯科検診・フッ素塗布の対象を拡大。(1歳9か月児から2歳9か月児までの希望者) ・訪問型ヘルパー派遣、通所型デイケアによる産後ケア事業(宿泊型ショートステイを新設)を育児への不安が強く、家族から十分な支援が得られない対象者に実施。 ・母子の健康を維持し、発達の支援を行うために、妊婦健診の受診勧奨と産後健診・1か月児健診の無料化を実施。 ・6か月児、1歳6か月児、3歳児の健診を実施し、精密検査受診勧奨や関係機関との連携により、障がい等の早期発見とフォローに努めた。 ・予防接種法に基づく定期接種について、医療機関と連携して適切に実施。 ・平成29年度より親子関係の確立、子育て不安の解消のため子育て講座「子育ての旅」(全6回)を開催し、地域の子育てネットワークの強化を図った。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度取組実績にも掲げた事業を継続。 ・医療機関と連携し、妊娠初期から相談支援を行い、エジンバラ産後うつ質問票を活用した産後うつ予防の充実。 		

具体的施策	(6) 高齢者の地域ケア体制の充実
-------	-------------------

施策の展開方針

①地域包括ケア体制の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築に向けて多職種連携研修会を開催し、高齢者の3つの生活課題（「認知症への対応」・「フレイル予防」・「買い物等の生活支援」）を抽出。抽出された生活課題については、地域ケア会議で整理、分析を行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活課題について地域ケア会議で課題解決に向けた具体策等を検討する。多職種連携研修会の継続開催に加え、医療・介護連携ガイドや西部在宅ケア研究会など、周辺市町村との連携により、地域包括ケアシステムの更なる構築を図る。 		

施策の展開方針

②地域での見守り体制の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターを市社協に配置したほか、境港市見守りネットワーク構築事業支援補助金を3団体に交付した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターが各地区を訪問し、支え愛マップの作成等を通して地域の見守り体制の構築を図る一方、生活支援サービス事業では登録団体4団体中、2団体で支援の実績があり、引き続き地域の高齢者の生活支援と見守り体制の拡大に取り組む。 		

具体的施策	(7) 市民の健康づくりの推進
-------	-----------------

施策の展開方針

①健康づくりの推進（がん検診等の受診促進）	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・健診の受診率向上のために、7地区公民館等での講演会の開催、検診未受診者等に対するダイレクトメールや電話、訪問による受診勧奨、市内企業等への受診勧奨、市内開業医での結核・肺がん検診受診枠の拡大（300人から500人）に取り組んだ。 ・受診者全員に検診結果を通知。（胃・肺・大腸がん） 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の取り組みを継続実施するとともに、健康増進計画、自死予防計画、食育推進計画を統合した「健康づくり推進計画」を策定する。 		

施策の展開方針

②生活習慣病の重症化予防	評価	A
平成28年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診、レセプトデータの解析を行い、糖尿病の重症化リスクの高い対象者に対して、保健師、栄養士による生活支援を継続実施している。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の取り組みを継続実施。 ・特定健診の結果、糖尿病の重症化が予測される人に対して、医療機関への受診勧奨や治療が途切れなような働きかけと生活習慣の改善に向けた支援の実施。 		

施策の展開方針		
③介護予防の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいき百歳体操」の講習会を各地区で開催し、普及に取り組んだほか、介護予防筋力向上トレーニングの実施など、運動器機能の維持・改善を図った。健康教育の中でも「口腔機能向上・栄養改善事業」を重点的に取り組み、知識の普及に努めた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいき百歳体操」の普及と自主サークルの活動支援を継続して行う。フレイルサポーターの養成及びフレイルチェックの実施など、「フレイル予防事業」に取り組み、健康寿命の延伸に対する意識を醸成する。 		

施策の展開方針		
④高齢者の社会参加と生きがいづくり	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ことぶきクラブや自主サークル・グループ等の活動支援、「高齢者ふれあいの家」事業の実施、シルバー人材センターによる高齢者の就業機会の創出支援など、社会参加の機会・場の確保に取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・従来の活動支援に取り組む一方、ふるさとハローワークによる「生涯現役求人」のPR協力など、引き続き、高齢者が活躍できる場の確保の拡充に取り組む。 		

施策の展開方針		
⑤精神疾患の予防・自死対策	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・こころのカウンセリングを毎月実施。平成26年度に開設したホームページでセルフメンタルチェックが可能な「こころの体温計」サイトの継続。 ・平成24年度開始の「いのちとこころのプロジェクト事業」の継続事業として、「こころとからだの健康アンケート（小学6年生対象）」の実施、地域住民向け「いのちとこころ」の出前講座、地域ネットワークの拡大を目指した「こころの応援団をひろげる会」を開催。 ・赤ちゃん登校日、命の学習授業を実施し、小学生の頃から「いのちの尊さ、大切さ」を理解してもらうよう努めた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・こころのカウンセリング、「こころの体温計」サイトの継続。 ・「いのちとこころのプロジェクト事業」の「こころとからだの健康アンケート」、「いのちとこころ」の出前講座、「こころの応援団をひろげる会」の継続実施。あわせて、平成30年度より悩みや気持ちを気軽に話せたり、聞いたりできる交流の場（ひみつきち）を地域に作る取り組みを実施。 ・赤ちゃん登校日、命の学習授業の継続実施。 ・自死のサインに気づき、見守りや必要に応じて専門機関につなぐなど、適切な役割を担う人材（ゲートキーパー）を養成。 ・地域・企業・PTAなどに出向き、こころの健康を守るためのセルフケアの方法についての啓発を実施。 ・自死未遂者に対し、医療機関、事業所などと連携し、再発予防のための支援策を検討。 ・自死対策計画を「健康づくり推進計画」と一体的に策定。 		

具体的施策	(8) 障がい者の自立・社会参加の支援
-------	---------------------

施策の展開方針

①生活支援の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方への相談支援を西部地区の4か所の支援センターに委託した。また「境港市障がい福祉サービス事業所連絡会」を開催し、障がい児者プランの改定に際し意見を反映させた。 ・西部障害者自立支援協議会において、相談支援や困難事例への対応のあり方についての協議や事業所間のサービス調整等を行った。 ・日中活動の場である「生活介護事業所」が市内に新設されるにあたり、施設整備に関する支援を行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所連絡会にワーキンググループを設置した。今後、相談支援体制や居住環境の整備について議論を深め、施策に反映させる。 ・障がいのある方やその家族等が、より身近な場所で相談支援が受けられるよう、平成31年度以降は境港市単独で相談支援を委託する。 ・成年後見制度の活用について、今後も関係機関と連携を図りながら支援していく。 		

施策の展開方針

②就労支援の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センターや障害者就業・生活支援センター、障がい福祉サービス事業所等と連携し、障がいのある方の福祉的就労サービス（就労継続支援）の利用支援や一般就労への移行に取り組んだ。 ・障がい者就労施設等からの物品等の調達は、目標額（前年度実績を上回る額）を達成した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者就労に関する周知啓発（市報、HP掲載）を行った。 ・関係機関と連携し、事業者の障がい者雇用に対する理解を深めるとともに、就労移行支援、就労継続支援の充実を図る取り組みを行っていく。 ・障がい者就労施設等からの物品等の調達は、引き続き目標額を達成するよう推進を図っていく。 		

施策の展開方針

③生活環境の整備と障がいへの理解促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活用具の給付については実績が見込量を上回った。住宅改良助成については2件実施した。 ・あいサポート運動を市内2団体に委託して実施した。 ・「ほっとはあと&福祉ふれあいまつり」を開催した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活用具の給付や住宅改良助成について、必要としている方が円滑に利用できるよう引き続き情報提供を行っていく。 ・平成29年9月に施行された「鳥取県民みんなで進める障がい者が暮らしやすい社会づくり条例」（あいサポート条例）に基づき、ヘルプマークの普及をはじめ、障がいへの理解とあいサポート運動の推進の取り組みを引き続き行っていく。 ・避難行動要支援者名簿の対象者を拡充した。災害時に適切な支援ができるよう、引き続き体制整備に努める。 ・聴覚障がい児（者）訪問調査を行った。調査結果をもとにきめ細かい支援につなげていく。 		

施策の展開方針		
④精神障がい者の自立支援の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者手帳、自立支援医療制度（精神通院）について、窓口、ホームページで周知を図った。 ・また、こころの病気に関する各種支援制度等を紹介したチラシを市内及び米子市内の医療機関に配布。 ・精神障がい者当事者対象の「当事者会」を年5回開催した。 ・精神障がい者家族会「まつば会」や、精神障害者ボランティア団体「あい愛」の活動支援。 ・保健師が精神障がい者や家族の相談を受けながら、必要な機関へつなぐ等の支援。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の取り組みの継続実施。 ・「当事者会」を毎月開催。 		

施策の展開方針		
⑤発達障がい者支援の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診、事後健診及び3歳児健診で療育指導または療育専門機関受診が必要とされる幼児の早期発見に努めた。 ・健診結果等で、発達面で経過観察が必要な幼児や育児不安を持つ保護者に対し、療育を取り入れた遊びを通して、助言・指導を行う「すくすく教室」を開催。 ・年中・年長児の保護者が発達相談を希望する幼児を対象に「5歳児発達相談」を開催し、必要に応じて発達検査を実施する等、適切な支援を行った。 ・幼稚園・保育園児の発達段階のポイントとその支援をテーマに、医師、療育指導員を講師に、子どもの成長発達を考える講演会（全6回）を開催した。 ・市内にある「NPO法人陽なた」を中心に、発達障がい児に関する相談支援や障がい児通所サービスを利用していただいている。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診、事後健診及び3歳児健診で療育指導または療育専門機関受診が必要とされる幼児の早期発見の取組みの継続。 ・地域子育て支援センターでの「すくすく教室（療育教室）」の継続実施。 ・「5歳児発達相談」の継続実施。 ・関係機関と連携し、引き続き発達障がい児者個々に必要な支援が提供できるよう、体制整備を図っていく。 		

基本目標	4 安心して住みよい生活基盤の充実
------	-------------------

具体的施策	(1) 公共下水道の整備促進
-------	----------------

施策の展開方針

①未普及地区の整備促進	評価	A
-------------	----	---

平成29年度取組実績

- ・汚水管渠整備については、渡町・外江町において境港2号汚水幹線等の汚水幹線の整備、渡町・外江町・米川町において汚水管渠の面整備、渡北マンホールポンプの新設等を行った。
- ・終末処理場（下水道センター）については、平成27年度から平成29年度の3箇年で増設工事委託を実施し、汚泥処理施設増設工事の完成をもって平成29年7月に完了した。
- ・汚水整備区域における雨水排水路について、排水不良や老朽化の進んだ側溝等を改修した。

<公共下水道の整備状況>

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
整備面積(ha)	758.6	777.6	813.9	839.2	868.5	893.6	939.9
汚水管渠(km)	150.7	155.6	163.4	170.1	176.4	180.3	187.8
処理区域人口(人)	18,735	19,885	21,277	23,324	23,977	24,085	25,420
人口普及率(%)	52.3	55.0	59.7	66.0	68.6	69.7	74.3
水洗化人口(人)	16,082	16,635	17,524	18,172	18,904	19,330	20,354

<生活排水処理施設(合併処理浄化槽を除く)人口普及率の比較(平成29年度末)>

区分	境港市	全国平均	県内平均	米子市	倉吉市	鳥取市
人口普及率(%)	74.3	81.7	87.9	79.2	91.9	94.8

平成30年度以降の取組(予定)

- ・汚水管渠整備については、渡地区、外江地区において汚水幹線整備と面整備を行う。
- ・雨水排水路については、汚水管渠整備に合わせ、排水不良や老朽化が進んだ側溝等の改修を行うほか、西工業団地等において、浸水対策を目的として、排水路改修の設計、工事を行う。
- ・公共下水道事業計画区域外の外江地区、弥生町の一部を計画区域に編入するため、事業計画の変更を平成31年度に実施する。

施策の展開方針

②下水道施設の適正な維持管理	評価	A
----------------	----	---

平成29年度取組実績

- ・終末処理場について、平成29年度から平成31年度の3箇年で改築更新工事委託（汚泥処理施設、沈砂池施設）を実施中である。
- ・終末処理場等の既設機器の整備と交換や、マンホール・公共樹の補修等、維持管理を行った。

平成30年度以降の取組(予定)

- ・終末処理場について、改築更新工事委託を平成31年度にかけて実施する。
- ・管渠施設を含めた下水道施設について、適正な維持管理を行う。

施策の展開方針		
③経営の健全化	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・終末処理場運転経費の増加抑制に寄与する増設・改築更新工事を実施した。 ・し尿・浄化槽汚泥受入処理を平成29年4月から開始し、受入処理費分について、雨水処理費等と同様に、適切に一般会計から繰り入れしている。 ・未普及区域の解消、未接続世帯に対する接続勧奨等によって使用料収入が増加し、経費回収率が改善した。 ・整備計画や経営状況について、市報・ホームページ等を通じて公表した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・終末処理場の運転経費等の維持管理費の抑制に努める。 ・未普及区域の整備促進、未接続世帯に対する接続勧奨、水洗便所等改造資金融資制度改正の広報等によって新規接続を増やし、収益の向上に努める。 ・整備計画及び経営状況について、市報・ホームページ等を通じて公表する。 ・地方公営企業法に基づいた会計方式へ移行するため、固定資産台帳作成・公営企業会計システム構築等の外部委託、その他の移行作業を進め、平成32年4月から移行する。 		

具体的施策	(2) 夕日ヶ丘の市街化促進
-------	----------------

施策の展開方針		
①分譲促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングや雑誌・新聞等により、夕日ヶ丘分譲地及び定期借地権制度の周知・PRに取り組んだ。 ・平成29年度定期借地権制度利用実績 18件 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ポスティングや雑誌媒体等を活用し、分譲地及び定期借地権制度の幅広い周知・PRに取り組む。 		

施策の展開方針		
②商業・利便施設の誘致推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・商業・利便施設の誘致実現に向けて、事業者に対して夕日ヶ丘商業用地のPRに取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・地区の利便性や魅力度の向上に資する商業・利便施設の誘致活動に取り組む。 		

施策の展開方針		
③地区の賑わい創出	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「夕日ヶ丘水辺で乾杯」「ポート・ペーロン大会」等各種イベントが開催された。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、親水護岸を中心とした水辺空間と一体となった賑わいの創出に取り組む。 		

具体的施策	(3) 快適な都市環境づくり (公園整備・空家対策・防犯対策)
-------	---------------------------------

施策の展開方針

①公園の適正管理	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 公園内の環境改善を図るため、市内2か所の都市公園において、トイレの下水道接続を行った。 		
平成30年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 夕日ヶ丘地区において整備が行われた親水護岸と、隣接する夕日ヶ丘メモリアルパークが一体的に活用できるよう、ジョギングコースなどの整備を図る。 		

施策の展開方針

②建物の適正管理の周知、働きかけ	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税の納税通知書送付時に、空家となった建物の適正管理を促す文書を同封したほか、市報を活用して空家の適正管理の周知を行った。 空家の適正な管理を促すため、シルバー人材センターと「空家の適正な管理の推進に関する協定」を締結し、市報や窓口等においてシルバー人材センターが行う空家管理制度の周知を行った。 		
平成30年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 空家対策の指針となる「空家対策計画」を策定し、効果的な建物の適正管理の周知、働きかけを行う。 		

施策の展開方針

③特定空家の解消	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 特定空家の除却を一層推進するため、補助制度の拡充を行った。 空家の所有者等への働きかけにより、平成29年度は8件の特定空家が解消された。(5件が補助制度を利用) 		
平成30年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 最新の空家情報を把握するため、自治会の協力により空家の実態調査を行う。 空家対策の総合的な指針となる「空家対策計画」を策定し、計画に基づく取り組みを進めることで、特定空家を含めた空家対策を推進する。 		

施策の展開方針

④「空き家情報バンク」制度の活用促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページでの案内や市報での案内により、4件の物件登録があった。 		
平成30年度以降の取組 (予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 今後も、鳥取県宅地建物取引業協会等と協力しながら、広報やマッチングに力を入れていく。 		

施策の展開方針		
⑤安心安全なまちづくりの推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを2ヶ所に新設し、犯罪の未然防止に向けた環境整備を行うと共に、境港市防犯協議会や関係団体と連携した防犯パトロールの実施等、安心安全なまちづくりの推進に取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全なまちづくりの推進に向け、引き続き境港警察署や関係団体と緊密な連携を図り、防犯カメラの設置等、犯罪の未然防止のための環境整備等に引き続き取り組む。 		

具体的施策	(4) 荒廃農地の解消
-------	-------------

施策の展開方針		
①担い手の育成・確保	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・生産基盤が脆弱な新規就農者の経営安定を図るため、機械・施設等を整備する費用等の支援を実施 ・就農応援交付金：1件、青年就農給付金：5件、就農条件整備事業：3件 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・継続して各種支援制度の活用促進及び、新規就農者に対するサポート体制を関係機関と連携し強化する。 ・就農応援交付金、農業次世代人材投資資金、就農条件整備事業、農地賃借料助成事業など 		

施策の展開方針		
②農地流動化の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・従来の農業公社による農地賃借事業に加え、農地中間管理事業の活用による担い手農家、新規就農者への農地集積を行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業の活用を推進するため、農業委員会と連携し、農業経営をリタイア、縮小する農家などの出し手と、農地を求める担い手とのマッチングを図る取り組みを行う。 		

施策の展開方針		
③農地の再生・適正管理	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・国等の補助事業を活用し約77aの再生事業を実施し、若手担い手への農地集積に繋げた。 ・担い手の農地ニーズ、及び土地所有者の意向を把握し、年次的な農地再生活用計画を策定した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・国等の補助事業を活用した再生事業を実施するほか、農地再生活用計画を具体化するため農業委員会と連携し、地域における話し合いを進める。 		

施策の展開方針		
④新たな工業団地造成に伴うほ場整備	評価	A
平成29年度取組実績		
・今後の事業化に向け、先進事例の研究及び候補地の検討に取り組んだ。		
平成30年度以降の取組（予定）		
・引き続き、事業化の手法及び候補地の選定に取り組む。		

具体的施策	(5) ごみ減量化・資源化の推進
-------	------------------

施策の展開方針		
①生ごみ分別世帯の拡大	評価	A
平成29年度取組実績		
・地域の会合等での説明会の実施や、市報等での広報を行う。 平成29年度末で508世帯に増加している。（年間収集量：67トン）		
平成30年度以降の取組（予定）		
・引き続き広報を行い拡大に努める。（平成30年10月末、512世帯）		

施策の展開方針																						
②使用済み紙おむつの分別収集の拡大	評価	A																				
平成29年度取組実績																						
<table border="0"> <tr> <td>・グループホーム入居世帯</td> <td>5施設</td> <td>73人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・有料老人ホーム入居世帯</td> <td>4施設</td> <td>115人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保育園</td> <td>2施設</td> <td>32人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・訪問介護利用等一般世帯</td> <td></td> <td>17人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>241人</td> <td>（年間収集量：50トン）</td> </tr> </table>			・グループホーム入居世帯	5施設	73人		・有料老人ホーム入居世帯	4施設	115人		・保育園	2施設	32人		・訪問介護利用等一般世帯		17人			合計	241人	（年間収集量：50トン）
・グループホーム入居世帯	5施設	73人																				
・有料老人ホーム入居世帯	4施設	115人																				
・保育園	2施設	32人																				
・訪問介護利用等一般世帯		17人																				
	合計	241人	（年間収集量：50トン）																			
平成30年度以降の取組（予定）																						
<ul style="list-style-type: none"> ・収集対象の施設及び世帯の拡充と、収集体制の確立を併せて取り組む。 ・平成30年度は10月末で、デイハウス1施設、保育園4施設、個人1世帯の収集拡大。 ・保育施設からの乳幼児用おむつ回収の要望を受け、全市的展開に向けての調査を開始した。 																						

施策の展開方針		
③清掃センターの解体及び跡地利用	評価	A
平成29年度取組実績		
・清掃センターの解体と跡地利用を環境省の循環型社会形成推進交付金を活用して実施するための基礎資料となる鳥取県西部地域循環型社会形成推進地域計画の変更を行った。		
平成30年度以降の取組（予定）		
・環境省の循環型社会形成推進交付金を活用して実施する清掃センター解体工事調査・設計、及びストックヤード施設整備基本計画・設計にかかる経費の平成31年度予算措置を行う。		

具体的施策	(6) 防災体制の強化・整備
-------	----------------

施策の展開方針		
①防災・災害対策基盤の整備	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の更新はデジタル化とする方針を決定した。 ・公民館など災害時に避難所となる公共施設の耐震化を進めた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線のデジタル化による更新を平成31年度から2か年計画で行う予定。 ・中浜地区の集会所について、平成31年度から3か年で6施設の耐震改修を行い、改修後は支え愛避難所として位置づける予定。 		

施策の展開方針		
②市民防災の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の未組織自治会等に組織化に向けた説明を行なった。 ・防災士資格の資格取得を支援して10人が取得した。 ・防災出前講座や研修会等を実施し、防災意識の高揚を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・地区自治連合会と連携して自主防災組織の組織化に向けた取組を行う。 ・防災士資格の取得を支援し、地域の防災リーダーの育成を支援する。 ・専門家による防災講演会の開催や職員による出前講座などを実施する。 		

施策の展開方針		
③防災体制の強化	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者などの避難行動要支援者名簿について、自主防災組織等への配布が拡充した。 ・鳥取県等と連携して住民参加型の原子力防災訓練を実施し、地域防災計画や広域住民避難計画の実効性を向上させた。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者などの避難行動要支援者名簿について、引き続き自主防災組織、民生委員等に配布する。 ・鳥取県等と連携して住民参加型の原子力防災訓練を実施する。 		

具体的施策	(7) 市民会館周辺整備（防災、市民交流、文化・芸術拠点施設）
-------	---------------------------------

施策の展開方針		
①市民意見を取り入れた施設づくり	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度～平成30年度の2ヶ年で策定する管理運営計画において、学識経験者や市民団体の代表者等で構成する検討委員会を開催し、幅広く市民の意見を取り入れた計画策定を行っている。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計においては、関係市民団体からの意見を取り入れながら策定する。また、管理運営計画策定において、学識経験者や関係市民団体の代表者等で構成する検討委員会を開催するなど、市民の意見の聞き取りに努める。 		

施策の展開方針		
②財源の確保	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 防衛省の「防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金（補助率75%）」を活用し、平成29年度～平成30年度の2ヶ年をかけて実施設計を行っている。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、防衛省補助金を活用して、実施設計、建設工事等を行う。 		

具体的施策	(8) 渡漁港周辺整備
-------	-------------

施策の展開方針		
①渡漁港周辺の道路拡幅整備	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 市道渡84号線の道路拡幅整備に伴う、樋門工事を斐伊川(中海)の河川管理者である、国土交通省に委託し、平成29年度から2カ年で実施。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 渡漁港周辺地区の安全・安心で快適な生活環境の実現に向け、平成32年度末の完成を目指して、引き続き事業を実施していきます。 平成30年度：樋門及び市道渡84号線道路拡幅L=345mが完成。 平成31年度：市道渡84号線道路拡幅L=409m、漁港周辺道路拡幅(改良)L=613m 平成32年度：市道渡84号線道路拡幅L=289m、漁港周辺道路拡幅(舗装)L=613m 		

施策の展開方針		
②多目的広場・内水排除施設整備	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場や内水排除施設、漁港周辺道路の拡幅用地として活用する、旧漁港の埋立(一次造成)が完了。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> 渡漁港周辺地区の安全・安心で快適な生活環境の実現に向け、平成32年度の完成を目指して、引き続き事業を実施していきます。 平成30年：内水排除施設整備工事 平成32年：多目的広場整備工事 		

具体的施策	(9) 公共施設の適正管理
-------	---------------

施策の展開方針

①個別施設計画の策定	評価	B
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅について、個別施設計画として整備方針を検討、長寿命化計画を策定した。 ・先進事例として、鳥取市の市有施設マネジメント体制の調査を行った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度は、共同調査研究事業により各施設の現状把握と市有建築物に関する情報を一元管理できるデータベースを構築する予定。 ・平成32年度以降、各施設所管課で境港市公共施設等総合管理計画に示された施設総量（延床面積）の縮減方針に沿って将来の施設利用を検討の上、個別施設計画の策定を進める予定。 		

施策の展開方針

②安全な公共施設の管理	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度分の定期点検を実施。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に、42施設中の残り12施設の定期点検を実施（定期点検1順目の完了）。 ・平成31～33年度に、2順目の定期点検を実施予定。 		

施策の展開方針

③知識、技術力の向上	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・防火戸その他防火設備の定期点検講習、建築物の維持・保全研修、赤外線調査技術講習を受講。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に、建築設備診断技術者講習を受講。平成31年度以降も、施設管理・公共建築物マネジメント系の講習を受講予定。 		

施策の展開方針

④施設更新費用の縮減	評価	B
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅について、住棟毎の整備方針（建替え・改善・計画修繕）を長寿命化計画として策定、整備費平準化のため一部住棟は長寿命化（エコ）改善とした。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・各施設所管課で各建物の現状把握を行い、棟毎に建替え時までの修繕費等LCC（ライフサイクルコスト）の縮減と建替え時期の分散化（歳出予算の平準化）を検討し、整備方針（建替え・改善・計画修繕）を策定する。 		

基本目標	5 市民との連携による誠実な行政運営
------	--------------------

具体的施策	(1) 協働のまちづくりの推進
-------	-----------------

施策の展開方針		
①市民活動の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センター登録団体運営協議会へ補助金を交付し、市民活動の促進を図った。 ・市民活動推進補助金を14団体へ交付し、市民活動の支援を行った。 ・日本海新聞ふるさと大賞に1団体2個人を推薦し（全て受賞）、市民活動の広報・活性化を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年5月に市民活動センターがしおさい会館内に移転した。今後、市民活動が停滞しないよう、引き続き、市民活動センター登録団体運営協議会へ補助金を交付し、市民活動の促進を図る。 		

施策の展開方針		
②行政参加の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・審議会170回、委員の公募7回、パブリックコメント3回実施し、また、政策提案制度として、市民の声提案箱へ54件の提案を受理した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民の行政参加の機会を提供していく。 		

施策の展開方針		
③協働の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでまちづくり推進会議」において、協働の取組状況の点検を行った。また、協働を促進するため、平成28-29年度は「若い世代の参加」をテーマにし、市民を交えて意見交換を行い、2年間の協議結果を市長へ報告した。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「みんなでまちづくり推進会議」において、協働の取組状況の点検を行う。また、協働を促進するための取組テーマに沿った意見交換や情報収集を実施し、提言に向けた協議を行う。 		

施策の展開方針		
④ボランティア活動の促進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・境港市民総合ボランティアセンターへ補助金を交付し、ボランティア活動の促進を図った。 		
平成30年度以降の取組（予定）		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、境港市民総合ボランティアセンターへ補助金を交付し、ボランティア活動の促進を図る。 		

具体的施策	(2) 市民に分かりやすい情報提供と広聴
-------	----------------------

施策の展開方針		
①広報の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な制度・手続き、相談窓口などの行政情報と、医療・文化・観光などの地域情報を1冊にまとめた「くらしの便利帳」を発行した。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市報、ホームページの内容の見直しや、くらしの便利帳の発刊など、行政情報を分かりやすく積極的に提供していくため、一層の広報の充実を図る。 		

施策の展開方針		
②広聴の充実	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 市民の声提案箱による市政への意見等をいただいた。 「市長と語る会」を全7地区で実施し、多くの市民の参加を得た。 「まちづくり若者委員会」を新設し、若年層から市政に対する意見を聴く仕組みをつくり、2回の委員会を実施した。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 市民の声提案箱や市長と語る会を継続して実施する。 まちづくり若者委員会運営事業を継続して実施する。 		

具体的施策	(3) 行財政改革の不断の継続
-------	-----------------

施策の展開方針		
①自立・持続可能な財政基盤の確立	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 国費等の財源確保や、境港市総合戦略等との連動性を基本に、真に必要な施策の取捨選択を行いながら、予算編成を行った。 平成29年度決算において市債残高は124億円と前年度比で約1億円の減となっており、臨時財政対策債を除く実質的な市債残高はピーク時の4割程度に減少した。 自主財源確保の取り組みとして、ふるさと納税による寄附金は前年度比で約2億7千万円の増となる金額を集めることができた。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 市民交流センター(仮称)建設が本格化し、その他の大型投資事業も控えているため、より一層「規律ある財政運営」に徹し、公債費の適正管理や自主財源の確保に努める。 		

施策の展開方針		
②市民参加と協働による市政の推進	評価	A
平成29年度取組実績		
<ul style="list-style-type: none"> 審議会の公開、委員の公募、パブリックコメントのほか、「市民の声提案箱」(政策提案)や「市長と語る会」(出前座談会)の実施により市民参加の機会創出を図った。 事業委託、共催・後援、補助・助成、事業協力、情報交換・情報提供などの様々な形態で協働に取り組んだ。 		
平成30年度以降の取組(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、市民参加と協働による市民に開かれた、市民本位の市政推進に取り組む。 		

施策の展開方針		
③職員一人ひとりの意識改革	評価	A
平成29年度取組実績		
<p>・ 接遇研修やメンタルヘルス研修などの独自研修のほか、鳥取県職員人材開発センターが実施する職員の階層や経験年数に応じた階層別研修（新規採用職員研修、新任課長研修など）及び専門的な知識を深める専門研修（法務研修、クレーム対応など）並びに市町村アカデミー等（全国の市町村職員が集まる研修施設）におけるより高度な専門研修（児童虐待対応、保育行政など）に参加し、職員の能力向上に努めた。また、中海・宍道湖・大山圏域市長会において、圏域内の地方自治体職員と経済界がともに実施した人材育成研修に参加し、職員の人材育成を図った。</p>		
平成30年度以降の取組（予定）		
<p>・ 引き続き、鳥取県職員人材開発センターや市町村アカデミー等が実施する専門研修等に積極的に参加するとともに、本市独自の研修や中海・宍道湖・大山圏域市長会で実施する人材育成研修にも取り組み、職員の能力向上、人材育成を図る。</p>		